

令和2年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

| 視点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | |
|------------------------|---|--|---|---|
| | | | 具体的な方策 | 評価の観点 |
| 1 教育課程 学習指導 | <ul style="list-style-type: none"> ○「自立と社会参加」をめざし、子どもたちが主体的意欲的になる授業を実践する ○授業改善を組織的にを行い、専門性の向上を図る | <ul style="list-style-type: none"> ①指導の系統性の視点をもって「学習指導内容表」の作成と見直しを行い、子どもたちの主体性や意欲を引き出す授業づくりを行う ②組織的な授業改善に向け、授業公開・授業検討会・学習会等をとおして、専門性の維持向上を図る | <ul style="list-style-type: none"> ①「自立と社会参加をめざす学習内容表」と関連付けながら、学習指導要領に基づいた教科の学習内容表の作成・検証を実施する ②教員間での授業参観や授業検討会の工夫、学習会の実施等、授業について教員が学ぶ機会を設定する | <ul style="list-style-type: none"> ①指導の系統性の視点をもった「学習指導内容表」の整理と教育活動による検証を行うことができたか ②授業公開や参観、学習会等の促進、授業検討会の工夫により、チームによる授業改善が進められたか |
| 2 幼児・児童・ 生徒指導・支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ICTによる教育活動など、一人ひとりのニーズに応じた教育を実践する ○アセスメントを充実させ、専門性の高い支援を実現する | <ul style="list-style-type: none"> ①ICTを利活用した学習活動やオンライン授業により、個々の教育的ニーズに応じた教育を実践し、学習支援の充実を図る ②新たなアセスメントツールの活用を促進し、子どもの特性を客観的に評価し、個別教育計画や教育活動につなげる | <ul style="list-style-type: none"> ①ICTを利活用した授業実践やオンライン授業の共有を図り、個の実態に応じた教育や支援を充実させる ②各学部部門において適切にアセスメントツールを活用し、的確な実態把握を基にした個別教育計画を作成し、教育活動を実践する | <ul style="list-style-type: none"> ①個々の教育的ニーズに応じた教育活動の展開に、ICTやオンライン等を活用し、各家庭のICT環境調査を進められたか ②的確な実態把握により、目標設定や支援の手立て等を、個別教育計画や子どもの教育活動につなげることができたか |
| 3 進路指導・支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○子どもたち一人ひとりの生活の充実をめざし、発達段階に応じた進路指導・支援を行う ○将来を見据えた地域生活充実のため、障害者スポーツを促進する | <ul style="list-style-type: none"> ①子どもたちの将来の生活を見据えた、進路指導・支援を推進する ②障害者スポーツを地域に発信するとともに、子どもたちの余暇活動の体験機会を充実させる | <ul style="list-style-type: none"> ①個別の支援計画策定会議や事業所見学等をとおして、子どもたちの将来像をイメージし、将来を見据えた進路指導・支援を展開する ②生涯スポーツにつながるような「パラスポーツ教室」等を開催する | <ul style="list-style-type: none"> ①子どもの将来像をイメージしながら策定会議や見学会を展開したり参加したりすることができたか ②楽しく参加できる「パラスポーツ教室」等を開催したり、地域と協働する機会を設定したりできたか |
| 4 地域等との協働 | <ul style="list-style-type: none"> ○地域社会と連携しながら、社会性を育む ○相模原地区におけるインクルーシブ教育を推進する | <ul style="list-style-type: none"> ①地域での教育活動や交流及び共同学習を推進し、地域と協働しながら幼児児童生徒の社会性の育成をめざす ②地域の関係機関との連携を図り、巡回相談やネットワーク会議等への参加をとおして、センター的機能の充実を図る | <ul style="list-style-type: none"> ①コミュニティスクールでの意見交換をいかし、地域での教育活動等をとおして、子どもたちがコミュニケーション能力や社会性を伸ばすことにつなげる ②地域の各種学校等と連携し、巡回相談や協議会・研究会に参加することでセンター的機能を発揮する | <ul style="list-style-type: none"> ①コミュニティスクールを活用し、子どもたちが社会性を育むことができるよう、地域と協働した教育活動を展開することができたか ②各種事業をとおして、ニーズに応じたセンター的機能を発揮することができたか |
| 5 学校管理 学校運営 | <ul style="list-style-type: none"> ○信頼と期待に応える学校づくりを推進する ○安心して安全な教育環境の整備に取り組む ○現実的な防災体制を整備する ○不祥事防止の徹底を図る ○教職員の働き方改革を推進する | <ul style="list-style-type: none"> ①学校が直面する課題について、5つのプロジェクトチームを中心に、組織的に課題解決を図る ②会議のもち方や業務の進め方の改善をとおして、教職員の働き方改革を推進する | <ul style="list-style-type: none"> ①課題解決に向け各プロジェクトチーム(①10周年、②障害者スポーツ、③図書室活用、④EyeTracker、⑤カフェ)を展開する ②全教職員が働き方改革の意識をもって各業務にあたることができるよう、会議のもち方や進め方、情報共有等の工夫を図る | <ul style="list-style-type: none"> ①各プロジェクトチームの活動により、組織的に課題解決を進めることができたか ②会議のもち方や進め方、情報共有の工夫を図り、働き方改革を推進することで、18時以降の時間外勤務率を下半期で50%減らすことができたか |